

# 町民の声

## 下仁田ネギの会の紹介

下仁田ネギの会 会長 田中 芳重



にぎわうネギサミット

上毛かるたでネギとコンニャク下仁田名産と全国的に紹介され、下仁田の知名度アップに貢献されていると思います。徳川時代より受け継がれ栽培されているわけでありますが、昭和30年代より馬山農研下仁田葱生産販売部が設立され、贈答用品として全国発送を展開して、PR活動にも努力を続けてまいりました。トロリとした食感が抜群の甘さで需要も急速に上がり、栽培も下仁田以外でも多く栽培されるようになりました。下仁田ネギのうまさを引き出すの

は栽培方法が重要な要素となります。それは2度の植え替え、これは昔から先人たちが守り続けてきた下仁田ネギ本来の方法です。この2度目の夏の植え替えにより最高のうまみが生まれます。昭和の後期より県の機関の指導の下、省力栽培の名のもとに夏の植え替えをなくし、一度の定植で栽培する方法が広く普及するようになりました。平成に入り多くの消費者の皆様から下仁田ネギの味が落ちたという声が聞かれるようになりました。本場馬山地区の生産者の間からこのままでは下仁田ネギが売れなくなってしまう、何とか今のムードを打破してこうと多くの生産者と話し合いを行い、当馬山地区だけでも良いから原点に戻り昔からの栽培で本物のねぎを作っていこうと下仁田ネギの会を発足い

たしました。下仁田町でもご協力をお願いしました町の認定をいただき下仁田生まれ下仁田育ち生産者の住所氏名電話番号を明記し意匠登録を取り特別の緑の箱を作り会の規約として2度の植え替え、品種統一、その他5か条の申し合わせ事項を定め違反した場合には脱会とする、厳しい規約のもと下仁田ネギのブランド化を目指し努力をしております。

### 編集室から

一昨年の9月定例会において委員会役員構成が変わり、今回が6度目の広報編集となります。

今回は平成26年第4回定例会の主な内容について編集しました。内容については、分かりやすい編集を心がけますが、ご意見等お寄せ下さい。

広報発行特別委員会  
委員長 永井正之  
副委員長 千野榮治  
委員 原 秀男  
岩崎正春  
高瀬政信  
佐藤勇二

議会だより・会議録を  
ホームページでご覧下さい。  
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>  
問い合わせ先：電話82-2111  
(内線610番)

